



オーシャニアクルーズがオーシャニア ソナタの
スチールカッティングで
洗練のラグジュアリークルーズに新たな一歩

料理芸術とデスティネーション重視体験の最高峰の船となる待望の
ソナタクラス第1号の建造がスタート



東京 2025年6月5日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャニアクルーズ](#)が、6月4日、オーシャニア ソナタのスチールカッティングという記念すべき日を迎えました。ブランドにとって画期的な新クラスとなるソナタクラス船の第1号です。式典はイタリアのベネチアにあるフィンカンティエリ-マルゲーラ造船所で行われました。卓越した小型客船によるラグジュアリー体験を提供するオーシャニアクルーズが、次なる進化に向けて新たなページを開きます。

2027年にデビュー予定のオーシャニア ソナタに続いて、姉妹船オーシャニア アリエッタも建設が予定されています。これら新機軸をもたらす新造船は、オーシャニアクルーズの伝統である卓越の料理、デスティネーション重視の体験、洋上の洗練されたラグジュアリーをさらに進化させ、船隊の中で最もゆとりある設備仕様を誇る船となります。



オーシャニアクルーズのチーフラグジュアリーオフィサー ジェイソン・モンタギューは、「オーシャニア ソナタはラグジュアリークルーズに新時代の幕開けを告げるものです。20年近くにわたる造船パートナーのフィンカンティエリ社と共に、革新のレガシーを継承できることを誇りに思います。私たちは共に、ラグジュアリー、エレガンス、快適、そしてイタリアのクラフトマンシップが洋上で最も高く評価される例となる船を作り上げてきました」と語っています。

新造船建設におけるレガシー

オーシャニアクルーズの客船としては9隻目となるオーシャニア ソナタの初就航クルーズは、2027年夏に予定されています。忘れられない体験というシンフォニーを奏でるためのあらゆる英知が結集する秀作となります。

今回の記念すべき節目は、イタリアの有名な造船会社フィンカンティエリ社との持続的なパートナーシップからもたらされました。高い評価を得ているオーシャニア マリーナ、オーシャニア リビエラ、オーシャニア ビスタ、そして2025年7月にデビューするオーシャニア アリュースは同社によって建設されました。

オーシャニアクルーズの豪華小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャニアクルーズについて

オーシャニアクルーズは洋上最高の美食と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員1,250名、全8隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験は、7大陸100か国以上の600を超える主要港から小さな港までに至ります。ソナタクラスのクルーズ船2隻が発注済み。オーシャニアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は www.nclh.com

画像提供はオーシャニアクルーズ

【発行元】オーシャニアクルーズ PR 株式会社フレア